

「ダニアレルギー舌下免疫療法」を開始しました！

一昨年の「スギアレルギー舌下免疫療法薬」に続いて、昨年（平成27年）12月にダニアレルギーの舌下錠が発売されました。

ダニ（ハウスダストのほとんどを占める）が原因とされる通年性のアレルギー性鼻炎は、国民の約40%が罹患していると言われています。アレルギー性鼻炎は、「くしゃみ、鼻水、鼻づまり」が特徴的症状です。花粉症に代表される季節性のアレルギー性鼻炎は近年増加傾向にあり、特にスギ花粉症は有名ですね。

現在、アレルギー性鼻炎に対する治療は、薬物療法（抗ヒスタミン薬やステロイド吸入薬）、鼻洗浄、免疫（減感作）療法があります。

薬物療法が一般的な治療ですが、これらは対症療法で症状を一時的に軽くするための治療であり、根本療法ではありません。これまで体質改善を目的とする根本療法には、原因アレルゲン（希釈ダニエキスなど）を皮下に注射する「皮下免疫療法」がありました。1960年代から喘息やアレルギー性鼻炎を対象に盛んに行われていましたが、1990年代から今日まで余り普及していません。

その理由は

- ① 致死となり得るアナフィラキシーの危険性がある
- ② 注射で苦痛を与える
- ③ 維持量に達するまで頻回に通院し長期間かかる
- ④ 有効か無効か予測ができない、ということです。

1986年に Scadding により「ダニ舌下免疫療法」の有効性が示され、それ以来欧米では二重盲検法による臨床成績が多数報告されています。①②③を回避できることからヨーロッパで

は「皮下免疫療法」と共に徐々に「舌下免疫療法」が普及してきました。花粉症のみならず、喘息にもアトピー性皮膚炎にも有効の可能性が示されています。

さて、「ダニアレルギー舌下免疫療法」の具体的方法は、舌下錠を舌の下に置き、1分間後溶けた錠剤を飲み込むだけです。副作用は軽微で口腔・咽頭の掻痒感や刺激感などで6~7割の患者にありますが、継続投与しながら数週間で軽快します。アナフィラキシーのような重篤な症例の報告はありません。

舌下免疫療法の一の問題点は、毎日欠かさず2~3年服用することで有効性は多数の報告で確実ですが、誰が有効で、誰が無効なのか、その指標が現在ないことです。やってみないと分からないと言うのが正直なところでしょうか。舌下免疫療法中、従来の薬物は継続可能で、有効例は徐々に薬物の摂取が少なくなります。

また日本では12歳以上という縛りがあるのが残念です。（ヨーロッパでは4歳以上）

ダニ舌下錠は塩野義製薬から「アシテア」、鳥居製品から「ミティキュア」が発売されており、薬局での支払いは3割負担で1ヶ月分約3,000円程度です。当クリニックでも開始しておりますので、アレルギー性鼻炎を合併した、喘息やアトピー性皮膚炎の患児（12歳以上）や成人（患児の親御さんなど）で興味がある人は申し出て下さい。（たまなは）

